

1 M オンデマンド攻 略 マニュアル

バイナリーオプション

60seconds

はじめに

当マニュアルをご購入いただき誠にありがとうございます。
当マニュアルでは基本的に裁量判断は不要ですが、その背景を知っていただくことで騙しを減らしたり、エントリーポイントを増やしたりすることも十分に可能になるかと思えます。

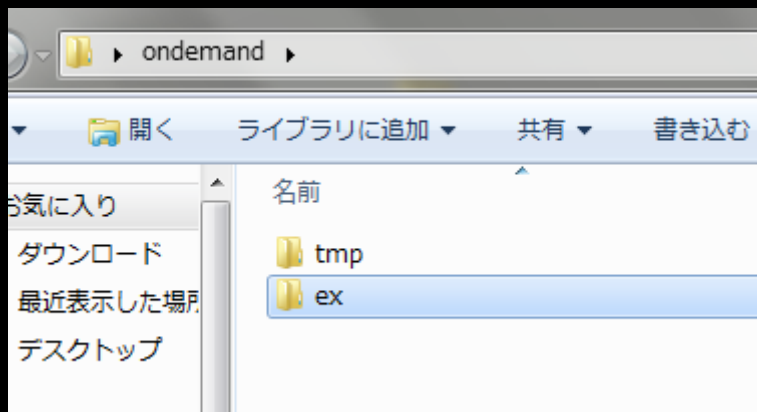
後半は裁量の要素について自分が意識しているポイントを簡単に書かせていただいております。

お役にたてていただけるかどうかわかりませんが、少しでもこの無裁量の奥にあるものとリンクしてみただければとも思っております。

早速ではありますがインディケーターの設定方法よりご案内させていただきます。

インディケーターの設定

添付されているツールは ex ファイルと tmp ファイルになります。



いずれもファイルを開き中のファイルをデスクトップなどに移動させておいてください。

tmp.Ondemand60s

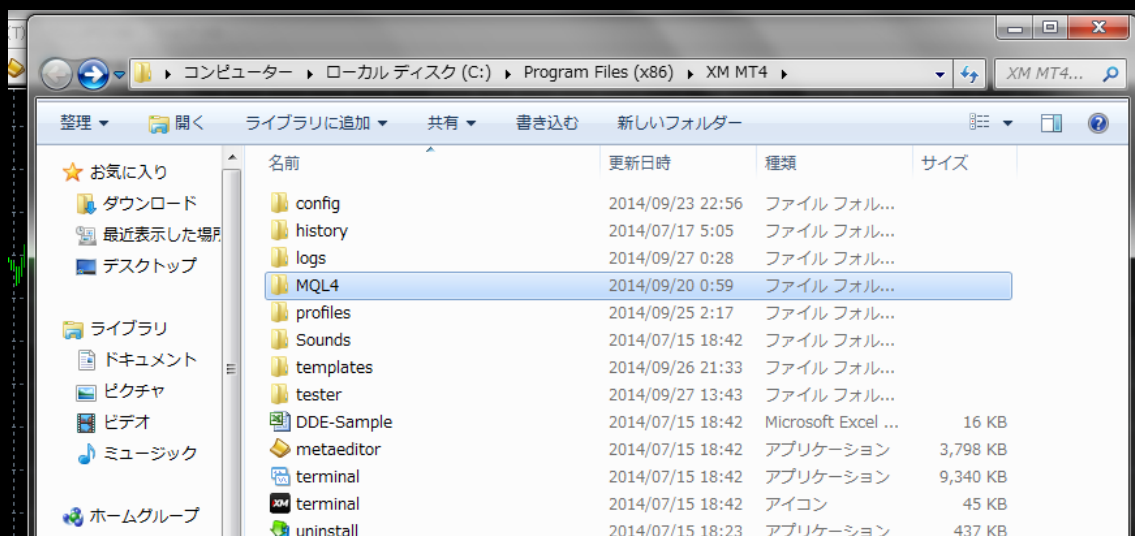
ex.60strader.supportresisutans.THVTrix

以上が添付されていることを確認してください。

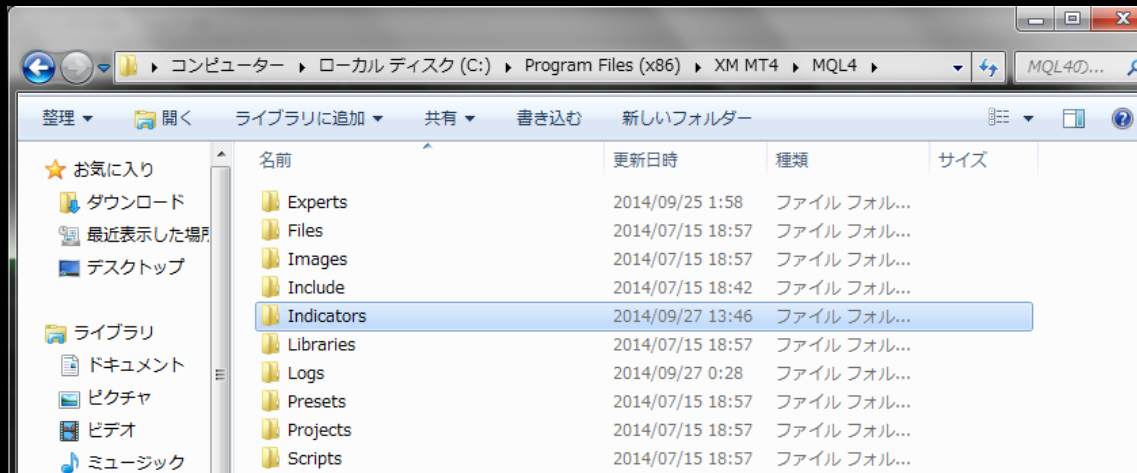
MT4起動後、上段『ファイル』より『データフォルダを開く』をクリックしてください。



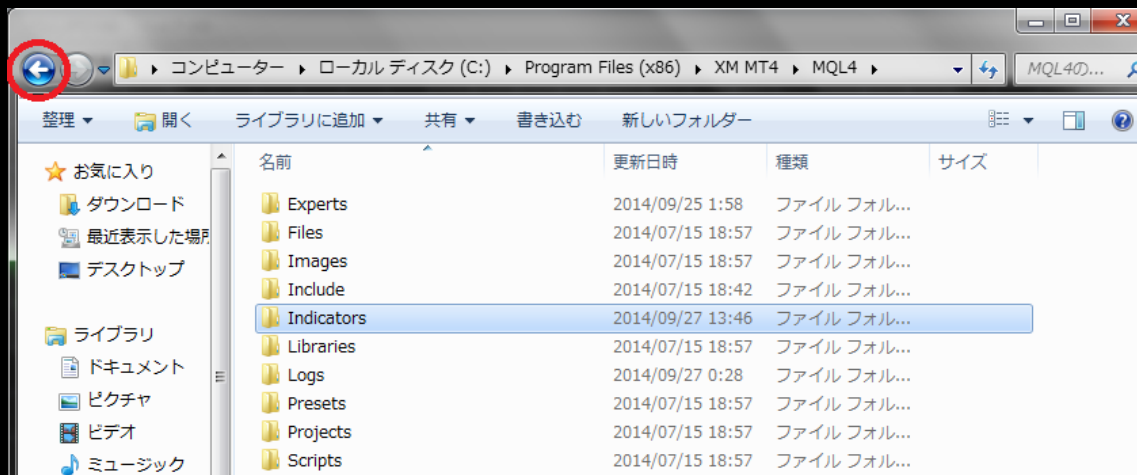
MQL4を選択してください。



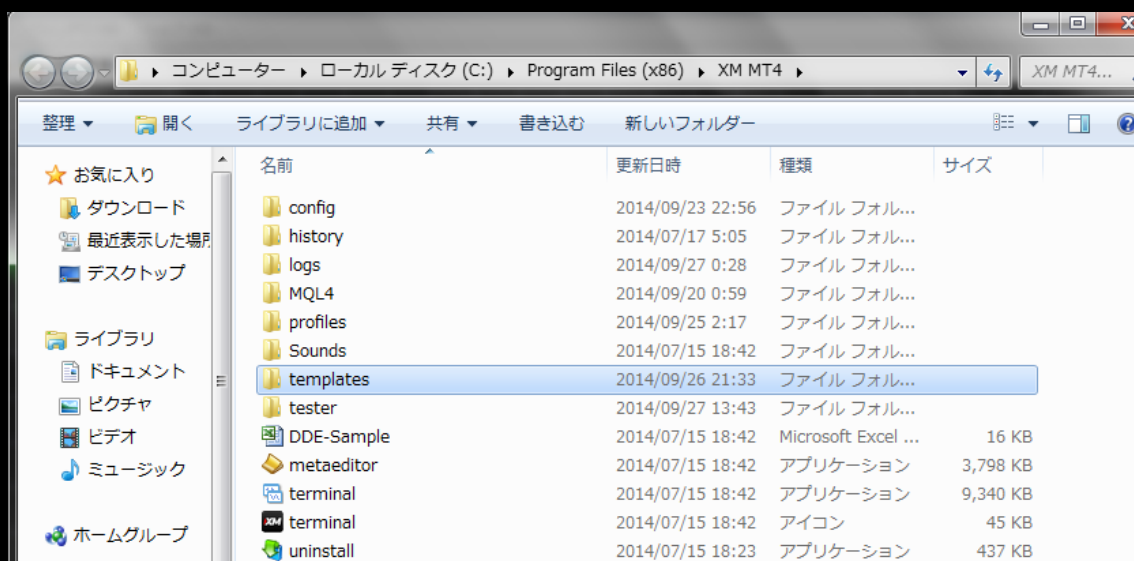
MQL4からIndicatorsを選択してください。



様々なテクニカルが並んでいるかと思うのでそこに添付したexファイル3点を移動してください。



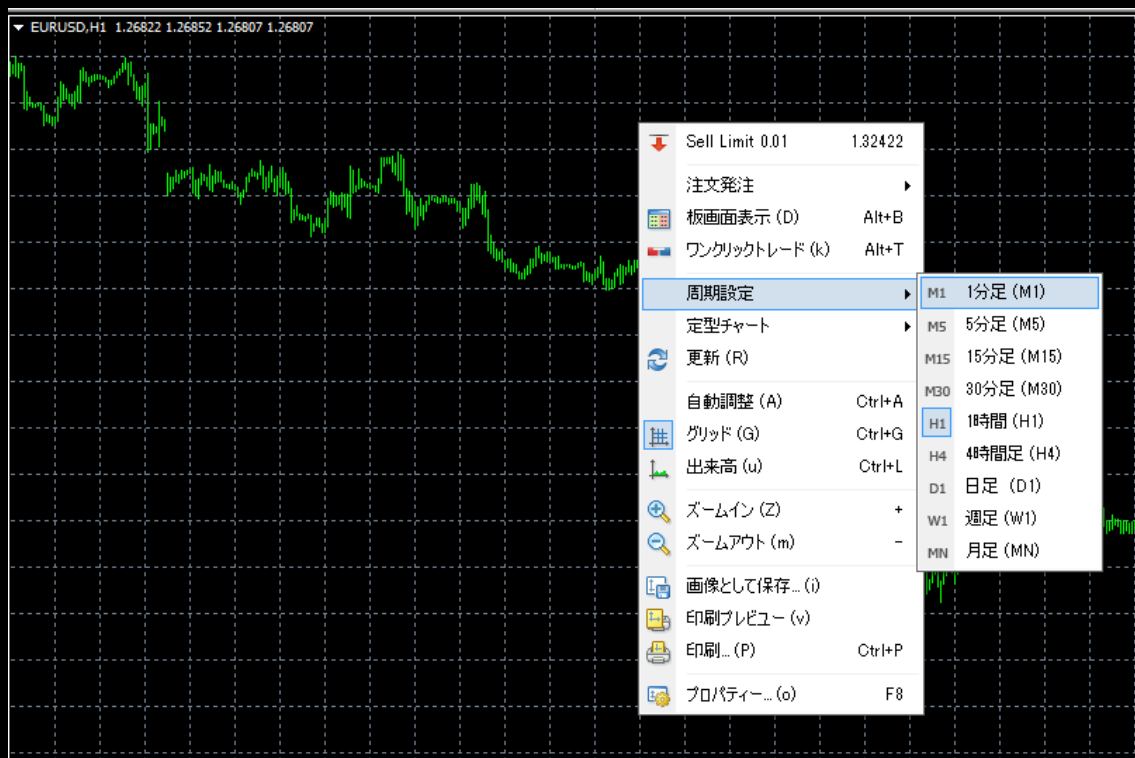
次にtplファイルを設定しますので最初のファイルまで戻ります。



Templates を開き添付されている tpl ファイルを移動してください。

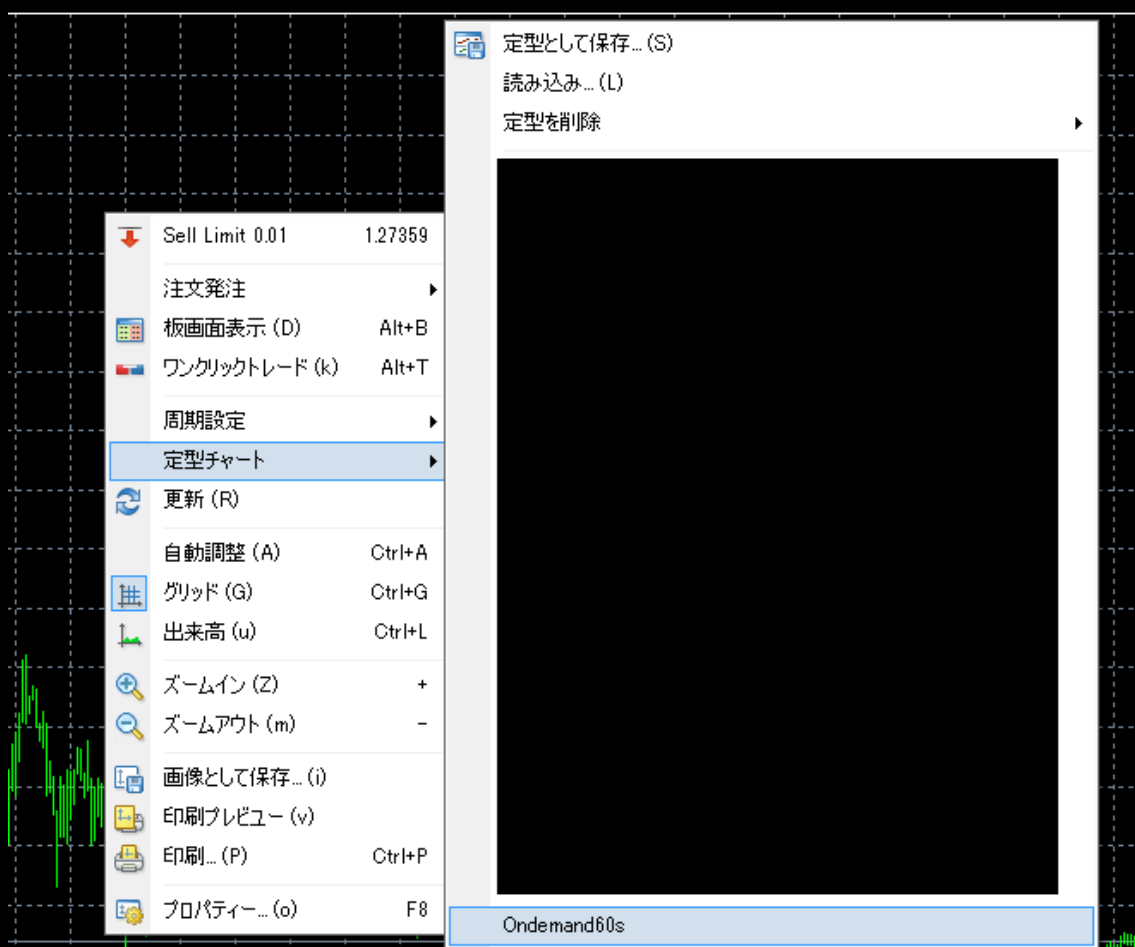
完了後、一旦 MT4 を閉じて再起動してください。

再起動後、EURUSD (推奨通貨) を開きます。

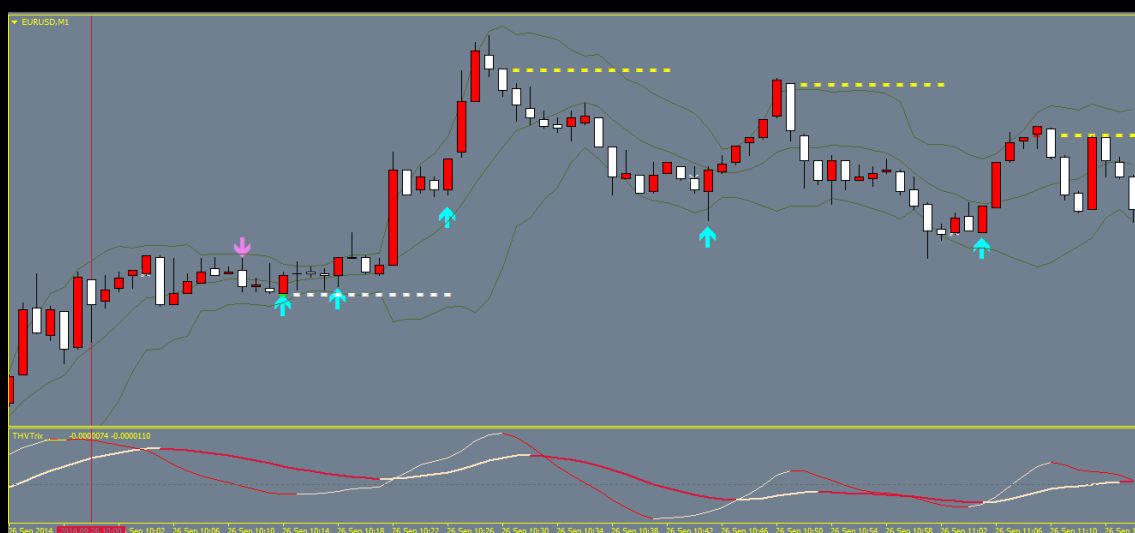


チャート上で右クリックから1分足を表示しておいてください。

同様に右クリックから定形チャートを選択し、
Ondemand60sを選択してください。



問題がなければ下の画面になります。

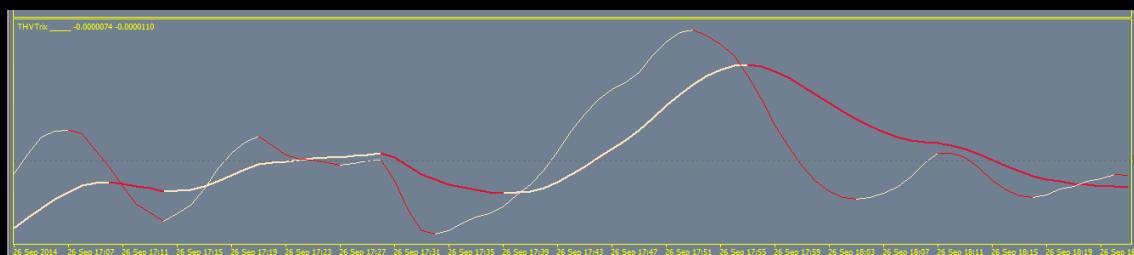


ボリンジャーバンドは期間 10 偏差 1.9を設定しております。

ボリンジャーバンドでは収縮、拡大を参考材料として見ていきますがこちらは裁量の要素が大きくなりますので後ほど紹介させていただきます。

基本トレード

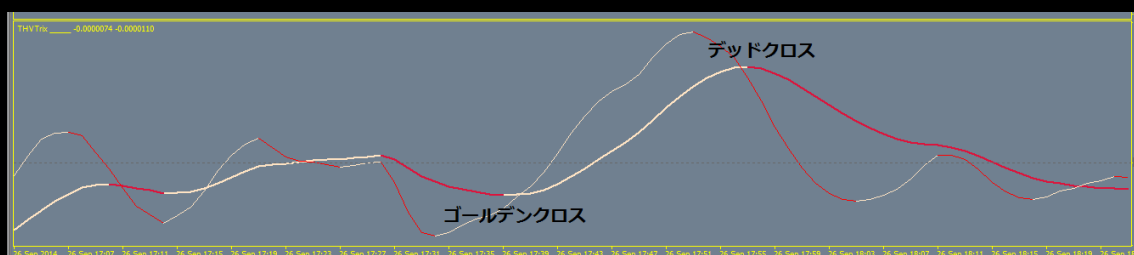
TRIXの見方



細いライン：ファストTRIX

太いライン：スローTRIX

今回TRIXで重要視するポイントは単にゴールデンクロス、もしくはデッドクロスを優先し、矢印が出現した時点でのカラーを見ていくことになります。

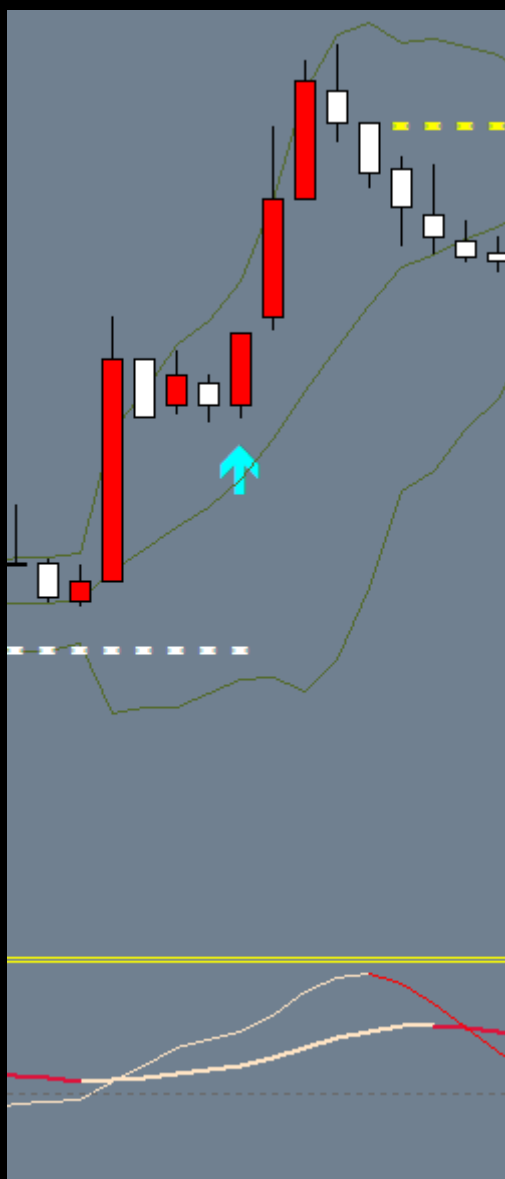


ただTRIXは同色でのクロスがそのトレンドに勢いがあることを示唆しますので個人の判断にてフィルターを強化して以下のパターンだけに絞り込むのも良いかと思います。



その他にもTRIXのクロスは角度が深いほどよく、浅いクロスはボラティリティが低く騙しが多く発生するといった特徴がありますのでそういった点も裁量のひとつとして参考にしても良いかと思います。

実 際 の ト レ ー ド パ タ ー ン



例 H I G H エ ント リ ー

T R I X が ゴ ー ル デ ン ク ロ ス を し て い る 状 態 に な り H I G H を 狙 う こ と に な り ま す 。

こ の 時 の T R I X の 色 は 異 色 で も 問 題 あ り ま せ ん 。

※ 個 人 の 判 断 で 同 色 ク ロ ス の み に 絞 っ て も 可 。

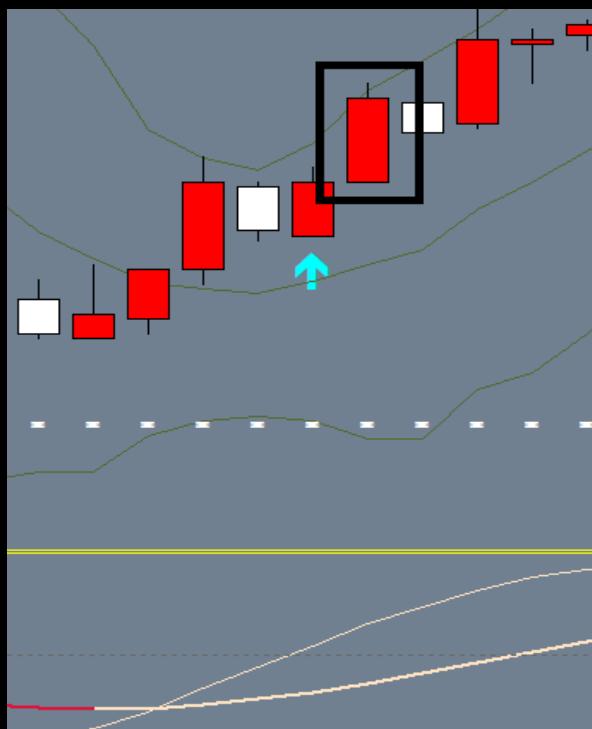
次 に 『 上 向 き の 矢 印 』 の 出 現 を 待 ち ま す 。

図のように矢印が出現した時点でTRIXが2本とも白
になっていればエントリー可能です。

矢印が出現した時点でどちらかが赤であれば見送りと
なります。

一方、LOWはTRIXがデッドクロスをしている状態での
下向き矢印出現時に赤色でエントリーになります。

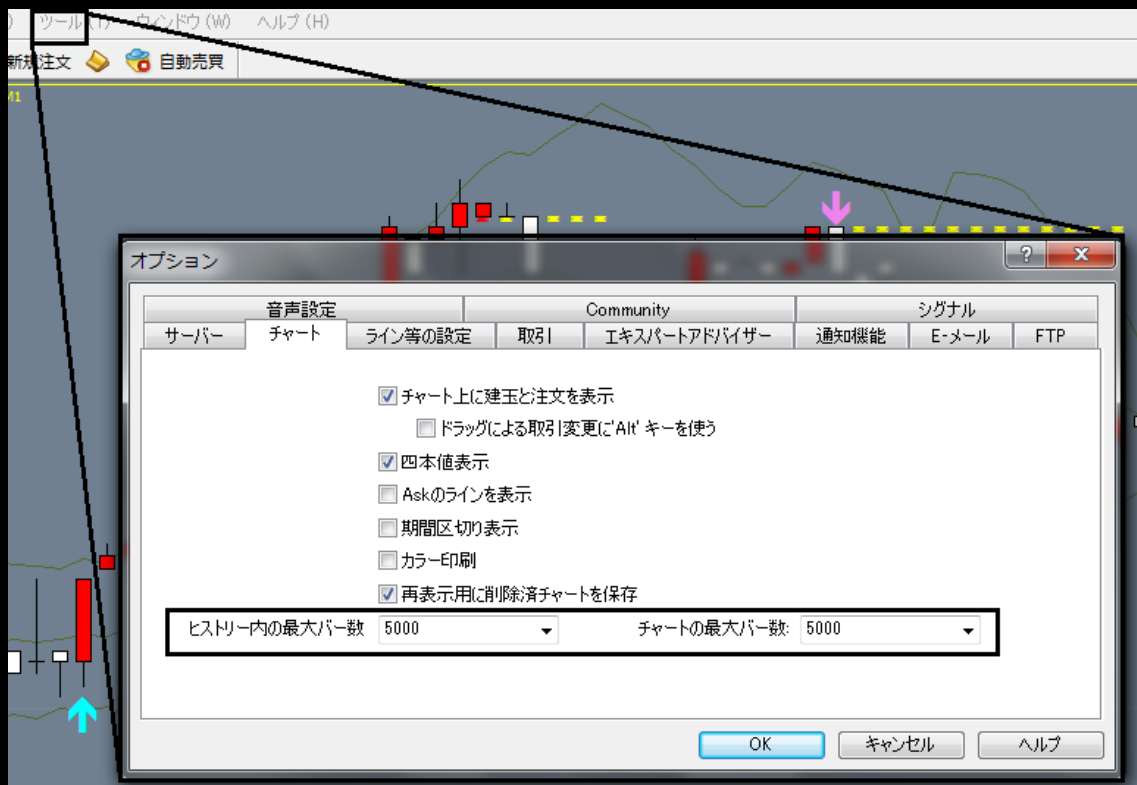
矢印は1Mのロウソク足確定で出現し、リペイントはしま
せんので理論的に次のロウソク足が陽線で確定してい
れば勝ちトレードになってきます。

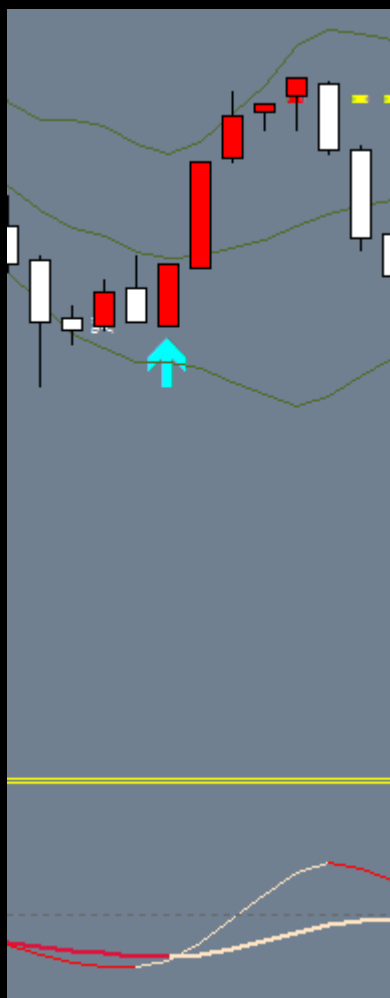


注 意 事 項

どうしてもMT4の仕様上ロウソク足確定からティック更新されないとき次のロウソク足が出現せず、矢印もその時に表示されますので、遅れることもまれにあります。

できるだけMT4がスムーズに稼働するようにMT4上段『ツール』からオプションを開き『チャート』を選択し最大バー数を小さくしておくことをお勧めします。





こちらはTRIXの同色クロスと同時に矢印が点灯しているパターンでエントリー対象です。



この場合、デッドクロスではありますが矢印が確定したポイントでファストTRIXが上昇の白になっていますので見送りとなり、次の矢印ではゴールデンクロスしてしまっていますので当然見送りとなります。



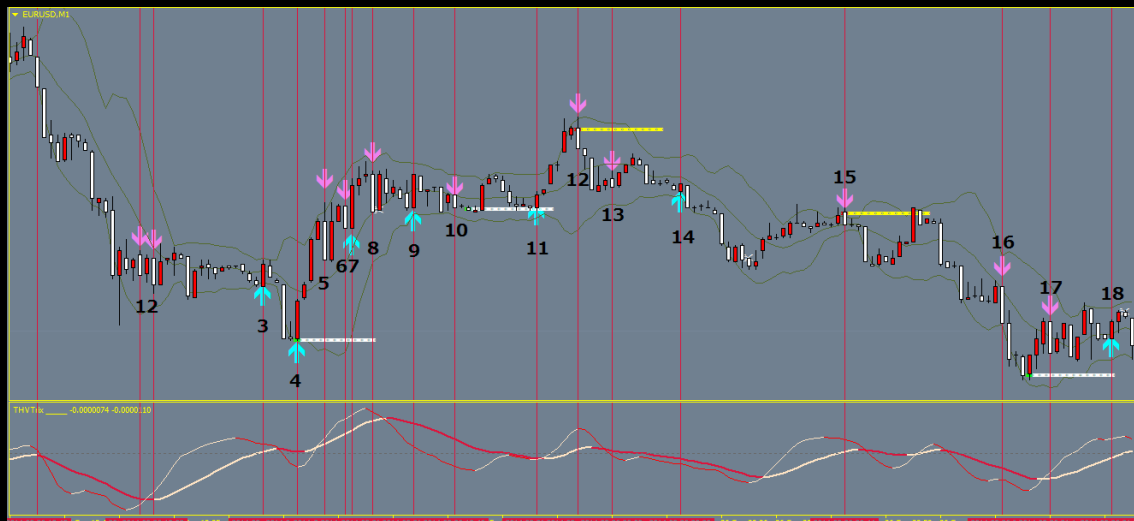
左の矢印から順にみていきます。

最初の上向き矢印はTRIXが下降を示しているの
で見送りです。

次の下向きの矢印は結果的に負けますがエントリー可
能です。

3番目の上向き矢印は前のTRIXのクロスと同時の矢
印でエントリー可能です。

その後の下向き矢印はTRIXが上昇を示していますの
で見送りのパターンとなってきます。



上のチャートは19:02～21:23までの矢印に縦のラインを表示しています。

少し見にくいですがこのチャート上でエントリー可能なのは

7・10・11・13・16・18となり13は負けトレードになります。

他は矢印が確定したタイミングでTRIXの色が揃っていないもしくは矢印とクロスの状態が一致していない環境になりますので見送りになります。

以上が基本的な無裁量でのトレードですが以下よりボリンジャーバンド等も含めこのツールの根本になる部分を紹介していきます。

矢印の出現するパターンを理解することで一歩進んだトレードやFXでも応用できますので、参考にしてください。

推進波 Iムーブと調整波 Cムーブ

まずトレンドを形成する波動について簡単にその特徴を紹介しておきます。

トレンドは基本的にIムーブとCムーブで形成され、Iムーブの後にはCムーブ、Cムーブの後にはIムーブといった流れでトレンドを形成していきます。

そしてCムーブの特徴が崩れIムーブの特徴を持った時にトレンド転換の可能性が出てきます。

以下は大まかな特徴ですがこの特徴を意識しながらチャートを見ることで矢印では拾えなかったエントリーポイントを拾ったり矢印が出現する前に有利なレートでオプションを取得することも可能になるかと思います。

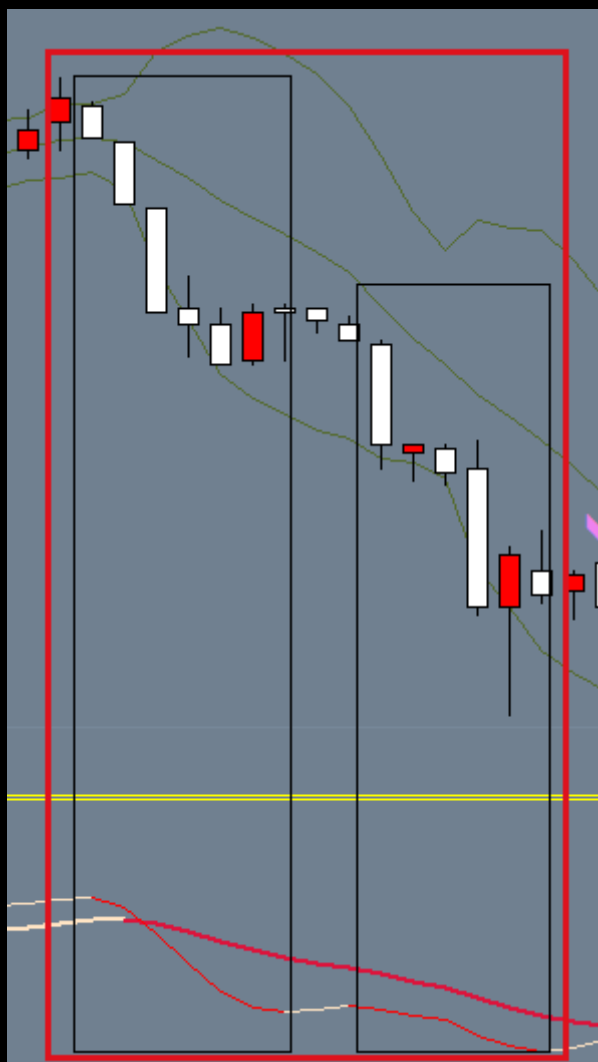
Iムーブ

陰線（陽線）が連続し、スピード（勢い）がある。
ヒゲは実体に比べて短い。

Cムーブ

Iムーブの後に形成され陰線陽線が不規則。
ロウソク足の実体は短く上下のヒゲが目立つ。

この内容と合わせてTRIXをみてみます。

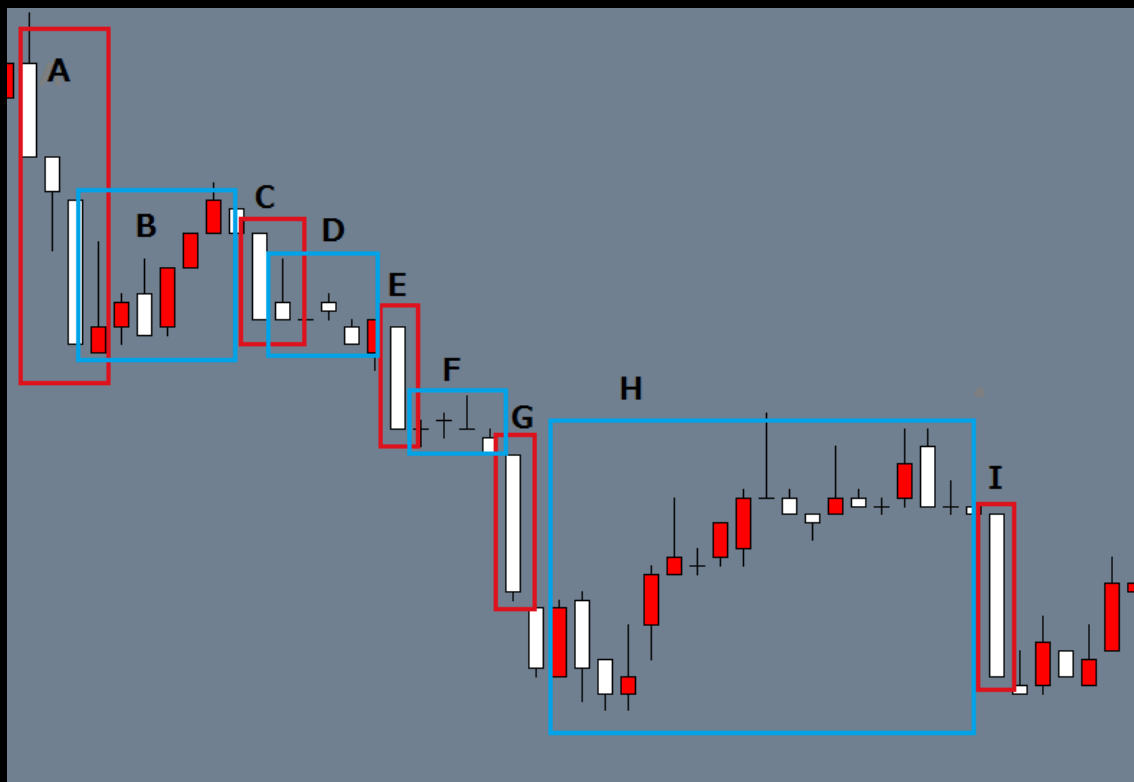


黒の細枠ではTRIXが2本とも赤色でロウソク足にも力があります。

その後ファストTRIXは白に変わっていますがその時のロウソク足は実体が短く勢いも特にありません。

ここでCムーブ？という見方ができる一方で次にはIムーブが形成されることが予想されます。

つまり次にIムーブの特徴（勢い・スピード）を伴った動きがあればそこがエントリーポイントになってきます。

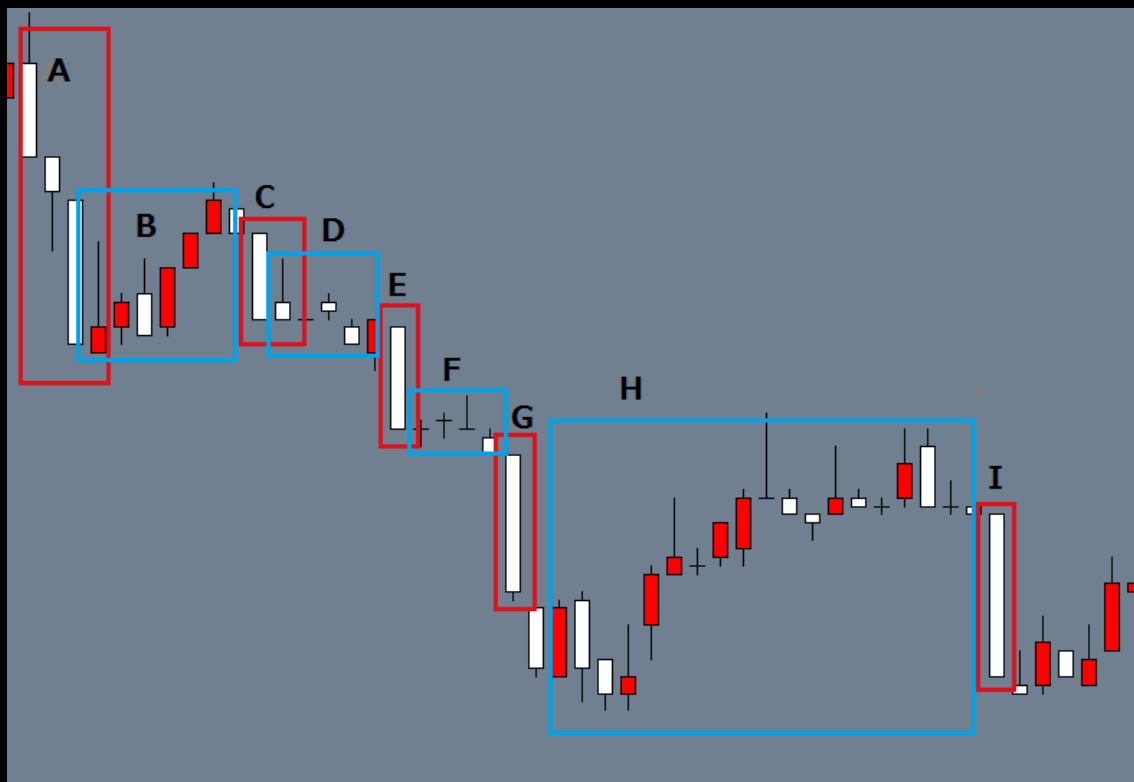


一番左の赤棒 A が 1 ムーブ (勢いもあり実体が高いなど) ということを基準に時系列でみていきます。

1 ムーブのあとは C ムーブ B です。

前の連続した陰線から比べても実体は短くヒゲも何本か目立ちます。

C ムーブの特徴が確認できるので次は 1 ムーブの特徴を持つ動きを待ちます。

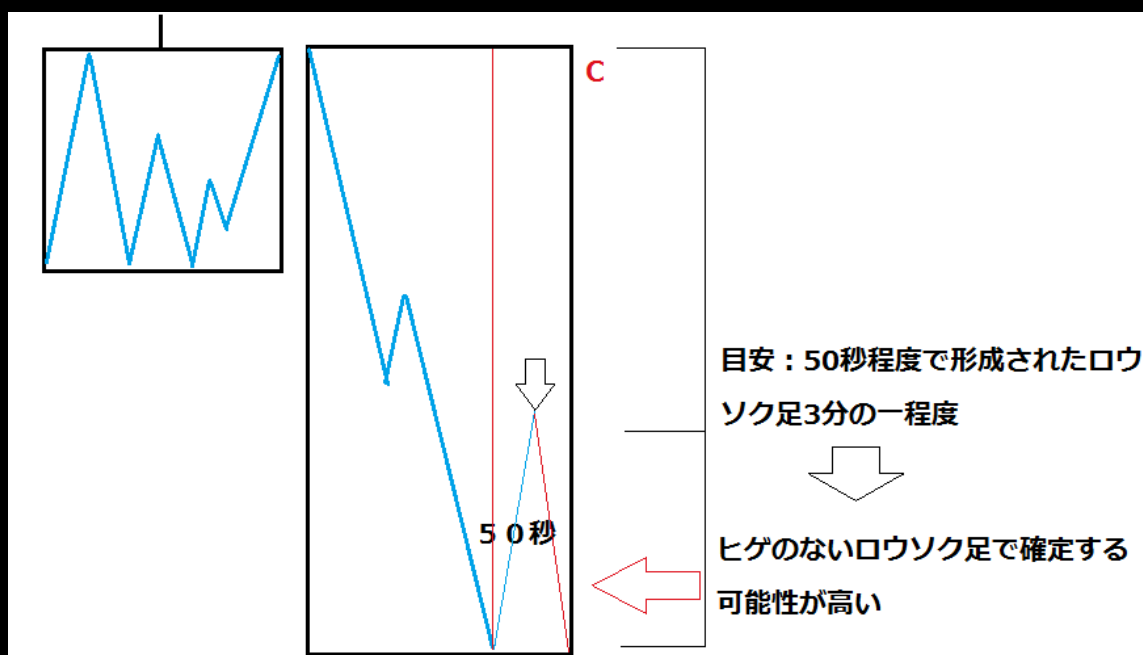


Cのロウソク足は実体が長く勢いもあります。

この特徴があると判断した場合タイミングを見てエントリーすることが可能になってきます。

タイミングの一例です。

図はCのロウソク足のイメージです。

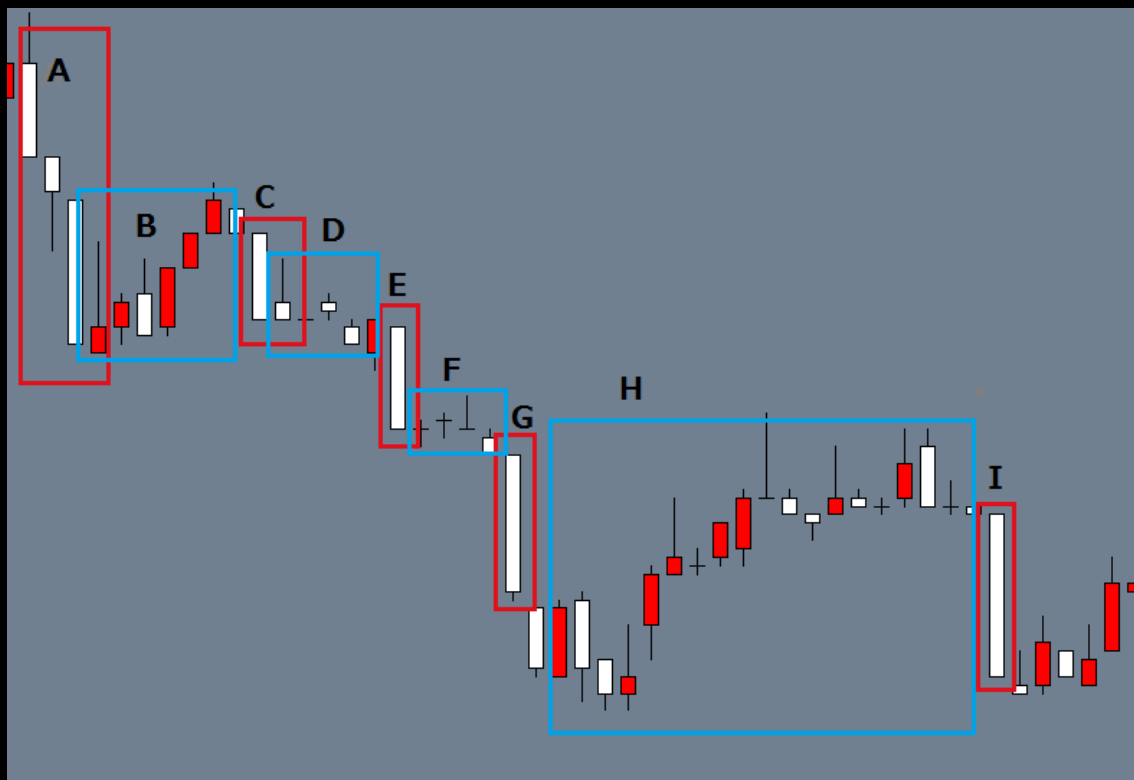


Cのロウソク足が始まり過去数本のロウソク足を一瞬で包むような動きがあった場合、その時点でエントリーを準備する必要があります目安として50秒程度まで押し戻される様子がなければだいたいヒゲのないロウソク足で終了する可能性が高く感じます。

50秒以降で3分の1程度戻ることがあれば積極的にエントリーしても勝算は高いパターンです。

『過去数本のロウソク足を数十秒で包み、なおかつすぐに押し戻されない力がある』

Cムーブからこのような特徴をもった動きがあれば注視してみてください。



次いでCムーブの特徴を持つDのような動きからEのような力強いロウソク足、FからGといったIムーブの特徴を持つ動きを意識することでかなりトレードの幅が広がるかと思います。

またHではTRIXは上昇を示しているはずですがCムーブの特徴が強いので様子見といったこともできるかと思います。

TRIXの色やクロスだけではなくIムーブの特徴、Cムーブの特徴を少し意識していただければと思います。

ではそのポイントを考慮してボリンジャーバンドを重ねてみます。



注目するのは反対側のラインです。

Iムーブの特徴を持った動きがあれば顕著にボリンジャーバンドは拡大します。

逆にCムーブ時のボリンジャーバンドは上下ラインが平行であったり収縮していたりといったパターンが特徴です。

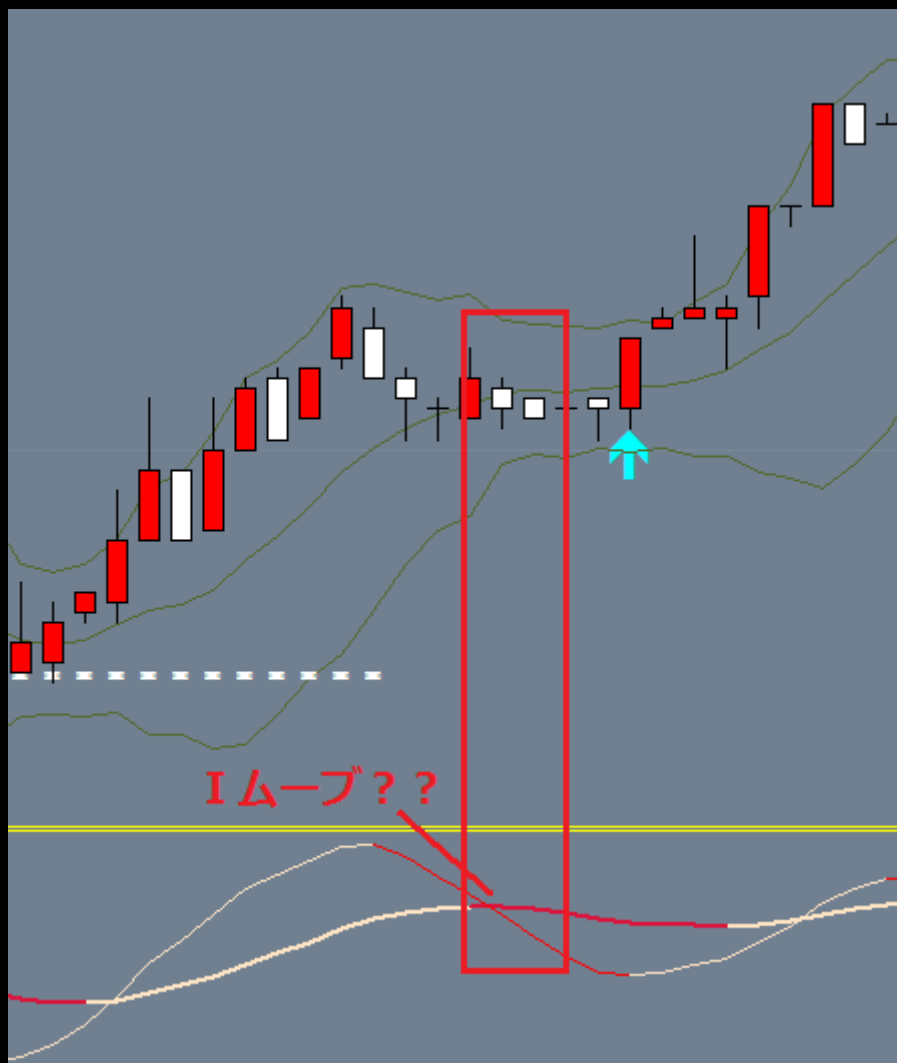
ここで紹介するボリンジャーバンドではCムーブの特徴をもった収縮状態からのわかりやすい拡大こそIムーブの可能性にあります。

Cムーブのような動きからボリンジャーバンドを拡大させるロウソク足の出現は絶好のエントリーポイントになります。基本トレードで紹介したTRIXと総合的に合わせていくことでかなりトレードの幅が広がるかと思しますので少しだけ頭の隅に入れておいていただければと思います。

長々となってしまいましたが簡単にまとめればこの1点になってくるかと思います。

TRIXのクロスはIムーブの特徴があるか。

Cムーブの特徴が強い場合以下のようなポイントも視野に入ってくるようになるかと思います。



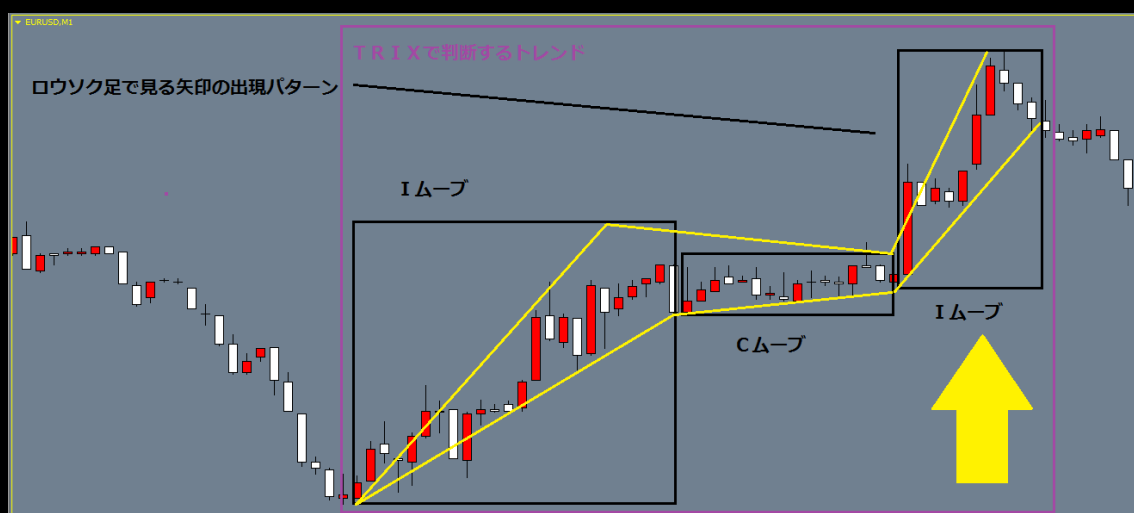
お世辞にもIムーブの特徴を持っているとはいえません。

TRIXを引っ張ってしまっただけのCムーブと判断できれば次の矢印に意味が出てきます。

矢印のロジックも結局はそのパターンをミクロにしているだけと思って頂いて良いかと思います。

矢印を逆に拡大してみた場合以下のように置き換えることができます。

紫の枠がTRIXで判断していくトレンドとした場合、Iムーブ後のCムーブから再度Iムーブの特徴がある変動があったポイントで矢印が点灯していると思っていただければと思います。



パターンを掴んで慣れていくことでロウソク足が確定する前に有利なレートでオプションを購入することも可能になってきますので合わせてイメージしていただければと思います。

長々となりましたが最後までお付き合いいただきありがとうございます。うございました。

少しでもお役に立てていただける内容になればと思います。